

おにクルぶっくぱーくの これまでのこれから

茨木市立おにクルぶっくぱーく 館長 後藤 ゆかり

茨木市について

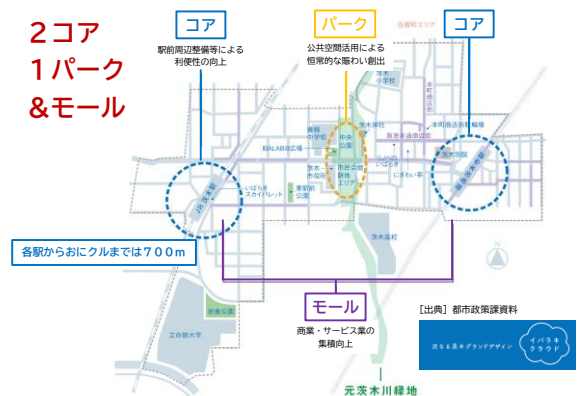


- 大阪府の北摂地域
- 大阪と京都の間に位置する

総人口 285,902 人
男 137,471 人女 148,431 人
世帯数 135,560 世帯 令和7年7月末 現在
面積：76.49km²

おにクルの概要

2コア 1パーク &モール



2コア1パーク 市民会館跡地エリア





茨木市文化・子育て複合施設

おにクル

地上7階建て
延床面積：約19,715㎡
広場面積：約3,650㎡

主な施設機能：
大ホール、多目的ホール、多目的室、
図書館（約10万冊）、市民活動センター、
子育て支援、屋内あそび場、
プラネタリウム 等

○愛称募集で決定
応募総数 2,677件
市民投票 総投票数 3,473件

6歳（当時）のお子さんの案が採用
おにクル
「こわい鬼さんでも楽しそうであたくなっちゃうところ」

施設整備のコンセプト

『日々何かが起こり、誰かと出会う』

7階建ての各フロアを貫く吹き抜け「縦の道」を中心に
様々なプログラムが溶け合う、新しいタイプの公共施設

『立体的な公園』

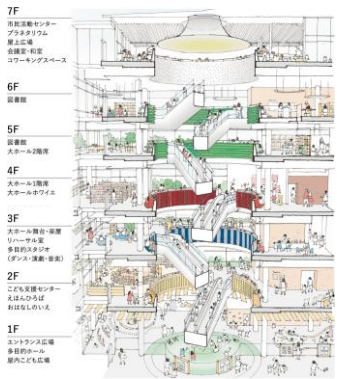
南北に連なる元茨木川緑地の緑や芝生広場と、施設の各階
テラスや施設内の緑がつながり、建築とランドスケープが
融合した立体的な公園に

縦の道

7階までを貫く吹き抜け
「縦の道」のエスカレーターが各階を繋ぐ

他の階の音や香りが伝わる

目的の階の行きすがら見える
ちょっと行ってみたいくなる
をつくる設計



設計時イラスト

運営各機能の運営体制

- 全館管理（管理運営、e-ル、プラネタリウム、広場、維持管理）
指定管理：おにクルみらい（SPS、イディイ）
- 屋内こども広場 まちなかの森 もつくる
指定管理：まち森AIグループ（明日香、ジャカワ）
- 市民活動センター きゃぱす
指定管理：いばらき市民活動推進ネット
- 全体調整・連携・総括
直営：共創推進課
- おにクルぶっくぱーく
直営：図書館
- こども支援センター
直営：子育て支援課
- 一時保育室
委託：明日香
- カフェ
目的外利用：オンザテーブル



全館体制

おにクル会議

想定出席者数：35名

カンファレンス 10名
ステアリング・コミュニティ（ステコミ）

全館業務共有会議

企画・連携ユニット 15名
広報ユニット 15名
サービスユニット 10名
安全安心ユニット 10名
そだてるラボ 20名

【おにクル共創チーム】 市職員、指定管理業者職員、そだてるラボについては、市民、団体、大学、学生、民間事業者等の多様な主体も参加

来館者
約360万人
令和7年9日末日現在

1日平均約5,800人



おにクルができるまで

そもそものきっかけは、**市民会館の閉館**

茨木市市民会館

大ホール（1003席）、平土間ホール（200人収容）
会議室4室、和室2室、喫茶店、
市民活動センターなどが入居（閉館時）
（昭和44年開館 地上6階地下1階）



経年劣化による維持管理費の増加、舞台装置の旧式化に加え、
バリアフリー、耐震性の面で課題

平成27年12月に**閉館、令和元年度に解体**



平成28年度（市民アンケート、100人会議）

市長×市民による対話 「**100人会議**」を実施

様々な意見を集約、分析し、「ホール」「憩い」「交流」「にぎわい」という
キーワード（要素）に集約。



いずれの回においても
「ホール」に関する意見が
一定数あり。

その他意見

・音響がよく、利用料金の安いホール ・音響の良い大中小規模ホール
・開放的な芝生広場 ・天窓等のデザイン ・子どもが遊べる施設
・カフェのある心地よい空間 ・週末に市場が開催されるような広場
・複合施設のある公園、等

市民会館跡地エリア活用キーコンセプト **育てる広場**



“スパイラルアップ”

できる「場」を「どう使い」「どう活動し」、
そして「どう変えていくか」は、
市民自身で考え、市民自身の手により
作り上げられていく

行政は「デザイン」やソフト面での「仕掛け」などを整備し、使い方については、
「市民や時間に任せる」という考え。
さまざまな人が集い、自分にあった過ごし方ができる「広場」というイメージの提示。

キーコンセプト「育てる広場」

市民参加

- 「市民の声を聞く」 言うは易く行うは…
 - ・ 声の大きい特定の人
 - ・ そもそも興味のない人もたくさん
 - ・ 意見はバラバラ

意見だけ聞くのは辞めました

実際に自分たちで「試してみる」という**社会実験**をセットに

「参加」から「主役」へ

意見を聞いて、素敵な施設を作っても、「使う人」がいなければハコモノになるかもしれ
ない。
公共施設なら、「使う人」は市民。
市民が自ら「主役」になることが重要。

令和5年11月26日

おにクル開館

育てる広場＝共有と共感

「育てる」＝プロセスを共有することで、
「共感」が生まれる。

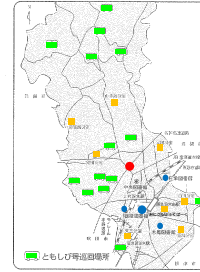
多様な価値観を「共感」でつなぐことで、
「共創」が生まれる。



茨木市の図書館の概要

■茨木市の図書館の概要

●茨木市立図書館のサービス網



● 中央館 ・ ● 4分館
■ 移動図書館1台
■ 8分室

●茨木市立図書館のあゆみ

- ・昭和27年 大阪府立図書館茨木ブックステーション設置
- ・昭和38年 茨木市立図書館併設
- ・昭和48年 茨木市合同庁舎内で業務巡回
- ・昭和49年 移動図書館としてしほ号巡回
- ・平成 4年 中央図書館 開館
本館だつた図書館を中条図書館に。
- ・平成 7年 水尾図書館 開館
- ・平成10年 庄栄図書館 開館
- ・平成13年 穂積図書館 開館
- ・令和 5年 中条図書館閉館
おにクルぱっくばく 開館

令和6年度数值

- ◇ 蔵書数 約127万冊
- ◇ 貸出人数 約 83万人
- ◇ 貸出点数 約342万点
- ◇ 予約点数 約 84万点



早い時期から機械化やデータベースを導入し、資料・情報提供を重視した図書館サービスを行っている。

おにクルぶっくぱーくが
できるまで

●平成29(2017年)年1月

市民会館跡地活用について各課意見募集
中条図書館の移転を提案 必要な面積：約2,000㎡

●平成30年(2018年) 3月

茨木市市民会館跡地エリア活用基本構想

機能①ホール機能「市民の“ハレの場”」
 ②憩い「サードプレイス」
 ③にぎわい・交流・中心市街地活性化「普段使いのできる交流とにぎわいの空間」
 ④子育て支援「いばらき版ネウボラ」
 ②・④において、**図書スペース**という言葉にとどまる

●平成30年(2018年) 5月

市民会館跡地エリア活用機能再配置検討会議
中条図書館移転が現実的に。

- ・新施設整備における機能検討にあたり、「憩い」や「日常のいごちのよい場」などがキーワードであがっていたこと、
- ・公共施設再配置の視点で検討し、おにクルに図書館機能が盛り込まれた

(参考) ●平成30年6月 図書館としての方向性

-中条図書館移転コンセプト-

本から始まる学び・出会い・憩い



●平成30年(2018年)12月

市民会館跡地エリア活用基本計画策定

想定面積 閲覧室、事務室、トイレ等 計1,000㎡
各階層、広場のさまざまな場所に書架を配置するなど、施設やエリア全体が図書館として機能する配置を計画
管理運営：直営

●令和3年(2021年)5月

茨木市市民会館跡地エリア(新施設・広場)管理運営計画

みんなのリビング ぶらりライブ러리 よりみち本棚 図書館迷宮 知識の探検に出かけよう 豊か創造拠点 つながる本棚 つなげる本棚 知と感性の庭 本と自分の

基本方針 「Book Park」

開放的で、一人でも子どもと一緒に、さまざまな人が気軽に訪れ
過ごすことのできる「本の公園」のような空間

本気 GO TO BOOK TRAVEL GO TO BOOK PICNIC ブックピクニック 未
の冒険のトビラ 町 ●職員で出し合ったことば館から絞り込み ひらけば色づく毎日
OK TO THE FUTURE 大なる @図書館 クラ BOOK TERRACE
マイ living room. @図書館 ホンとにいいトコ。@図書館
クラス 本は本のビタミン剤 LIFE ラリー Livery LaaS=library as a Service.
書館サンパ=学ぶ場、憩い場、出会い場。

管理運営：図書館直営についても明記

●令和4年12月 図書館名を「おにクルぶっくぱーく」とする条例について議会で承認

中条図書館の閉館と おにクルぶっくぱーく 開館に向けた取り組み

「中条図書館の閉館」

「令和5年8月31日閉館」

10月22日までは、資料の返却、予約受取サービス・予約の受付・
利用カードの申込・データベースコピーサービスについて対応

- 9月1日～9月5日 移転前の資料点検5日間
 - 9月6日～10月31日 資料移設業者との移設準備作業
 - 11月1日～11月17日 新施設資料搬入・配架
 - 10月上旬～10月末日 中央図書館で追加機器導入事前準備作業
 - 10月23日～10月末日 中条図書館の機器搬入準備作業
 - 11月1日～11月17日 新施設機器搬入・フロア配線・機器配置・設定作業
- 11月18日・19日 プレオープン
11月20日 おにクル図書館式典
11月27日 おにクルぶっくぱーく通常開館

75

さまざまな連携事業の開催

- 令和4年度
 - ×文化振興財団 5月22日 中央図書館ライブラリーコンサート
 - ×文化財資料館 6月25日 おにクルの過去と未来にタイムスリップ！！
 - ×プラネタリウム 7月1日から継続中 プラネタへの出張図書館
 - ×市民活動センター 10月16日 おにクルへ行こう大作戦への出張図書館
 - ×子育て支援課 10月22日～27日 こどもBOOKCIE（絵本交換イベント）
 - ×文化振興財団、跡地活用推進課、まち魅力発信課 10月23日 BOOK TRAVEL（本にまつわる様々なイベント）
 - ×文化振興財団 12月17日 ナイトライブラリーコンサート（フルートアンサンブル）
 - ×文化振興財団 2月25日 ナイトライブラリーコンサート（仮）（演奏会）
 - ×プラネタリウム 3月から 階段年表 図書館とプラネタの50年
 - ×生涯学習センター 3月12日 そらめきフェスタ
 - ×跡地活用推進課 3月25日 IBARAKIストリートアクション
- 令和5年度
 - ×プラネタリウム 4月29日 宇宙かぶとをつくろう
 - ×立命館大学 5月21日 立命館デイ
 - ×市民活動センター 6月3日 Let'sアクション応援市民活動フェスタ
 - ×文化振興課×子育て支援×市民活動センター 6月11日 市民活動ナビ
 - ×環境政策課 6月24日の連 いきものジャングルBOX工作に合わせた館内でのいばらきの環境パネル展示
 - ×プラネタリウム 7月30日、8月12日 階段年表ツアー
 - ×おにクル関係課 8月7日 おにクルぶっくぱーくで使うブックエンドペイント
 - ×SPS 9月23日 イオンSDGsフェス 茨木市の新スポットの魅力に触れよう
 - ×農林課 11月19日20日 農業祭「青空ぶっくぱーく」

クラウドファンディングの実施



- 336万4千円を達成（目標額200万円）
- 大型絵本や紙芝居、絵本、多言語絵本（275冊）合わせて1,632冊を購入
- 返礼品として、プレオープンご招待やブックトラックアートペイントのワークショップを実施 →コンセプト「育てる広場」
- 市内の体操教室にも出かけ、おにクルや図書館、クラファンをアピール

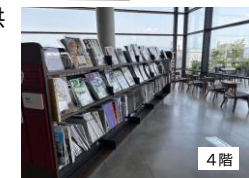
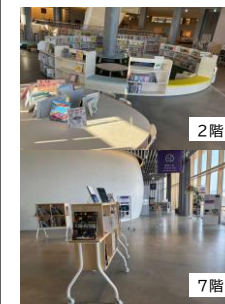


おにクルぶっくぱーくの 特徴

おにクルぶっくぱーくの特徴

①機能にあった資料提供

②どこでも読書



4階

2階

7階



おにクルぶっくぱーくの特徴

③他機能との共創

●出張おはなし会、夜カフェへの参加、ボードゲーム
×市民活動センターきやばす

●就業セミナーなどで図書館資料やデータベースを紹介
×商工労政課

おにクルぶっくぱーくの特徴

③他機能との共創

●多言語おはなし会
×大阪国際文化協会

●おにクルキャンプ
×全おにクル関係課+

おにクルぶっくぱーく
開館後の状況

おにクルぶっくぱーく 開館後の状況

①面積・座席数・蔵書数等

	中条図書館	おにクルぶっくぱーく
規模	延べ床面積 989.28㎡	延べ床面積 2371.26㎡
座席数	73 席	449 席
設備	イコナ外・読書本 1台	イコナ外・読書本 2台
設備	自動貸出機・BDS（無断持出防止装置）	自動貸出機・自動返却機・BDS・予約受取コーナー ※R、レファレンスカウンター
資料	図書・紙芝居・CD 約10～11万点	図書・紙芝居・CD 約10～11万点
雑誌	76誌	雑誌 116誌
開館時間	土日祝 12:28 9:30～17:00 休館 9:30～20:00	平日～21:00 土日祝 平日～20:00 土日祝～19:00
開館日数	305 日（令和4年度）	333 日（令和6年度）

②利用状況

おにクルぶっくぱーく 利用統計令和6年度

	合計	日平均
貸出点数（点）	678,989	2,039
貸出人数（人）	183,648	551
新規登録（人）	3,348	10

（参考）中条図書館令和4年度

	年間	日平均
貸出点数（点）	459,884	1,508
貸出人数（人）	106,555	349
新規登録（人）	737	2

③体制

○正規職員7名（司書資格有6人）
週5日7.5時間勤務会計年度任用職員6人（司書6人）
朝3時間勤務の会計年度任用職員（土日は2人）
夕方4時間勤務の会計年度任用職員が2人名
○1日あたり、平日は6～9人、土日祝は7～9人の出勤
○出勤時間：
平日夜間 8:45～17:15
土日祝夜間 11:45～20:15
10:45～19:15
○平日には複合施設を運営していくためのおにクル会議が定期的に開催され、正規職員が分担して参加。
○業務分担：一般室担当、児童室担当、視聴覚資料担当、雑誌担当
ブックスタート担当、庶務担当、連携担当、広報担当

④所感 良いこと・課題

（良いこと）
○おにクルが開館するまでの取組により、職員同士の顔が見えて連絡がとりやすくなっている。
○開館してからの新規登録者数は令和4年度1年間の3.7倍。（84年度は737人、85年度11月～3月2,749人）
○中条図書館と比べ、幅広い年齢層の利用者が訪れている、中高生の来館利用の増加。
○フロアワークが増え、利用者と接する機会が増えた。
○大人の方も、5階児童書を手に取るようになった。
○それぞれのスタイルで大人も子どもも読書を楽しんでいる。
○連携により、多様なテーマで特集本コーナーを作り、人と本をつなげることができる。
○市民の方から、少しずつだが一緒に何かやろうと声をかけてもらえるようになった。

（課題）
●自動返却機の本の回収業務
●書架整理・本の場所のご案内
●自習の増加・席取りの問題
●職員間の情報共有

6